

-jのパラメタ

make -jXXX で、make は依存関係を考慮しながら並列にタスクを処理してくれます。
で、割と大きめのプロジェクトをコンパイルするときには、
「なんとなくコア数の2倍」と盲信していたのですが、気になったので測定してみました。
CPU は、Intel(R) Core(TM) i7 CPU 860 @ 2.80GHz で、
make の対象は、gcc-4.5.1 . --enable-languages="c,c++" とかしてあります。
で、とりあえず一回まわしてみた結果は、
横軸が -j の値、縦軸が -j1 のときを 1 として正規化した速度向上率です。
なんとなく 6 あたりがピークなのかなあという感じ。
8 コアとはいえ、4 コア *Hyperthread ということや、
そもそも並列性がないとかそういうことなのではないでしょうか。

一言メモ

- 通常は corkscrew とか使うらしい . <http://d.hatena.ne.jp/rx7/20080703/p1> (Mon Aug 9 10:01:13 2010 +0900)
- proxy 越えて github へのアクセス . git:// を [http://](http://d.hatena.ne.jp/nobeans/20090901/1251792987) にかえるだけでいいらしい . <http://d.hatena.ne.jp/nobeans/20090901/1251792987> (Mon Aug 9 09:48:01 2010 +0900)